

宗教研究

第 85 卷

370

第 3 輯

論 文

- 諸岡 了介：世俗化論における宗教概念批判の契機1
 阿部 善彦：エックハルトの「ドイツ語説教86」における「マリア」像23
 村上 寛：マルグリット・ポレートに対する異端審問における異端理由とその解釈47
 藤本 拓也：エミール・シオランの神71

書評と紹介

- 氣多 雅子：長谷正當著『浄土とは何か』95
 ポール・スワンソン：“Shugendō,” *Cahiers d'Extrême-Asie* 1899
 林 淳：小池淳一著『陰陽道の歴史民俗学的研究』102
 川又 俊則：川村清志著『クリスチャン女性の生活史』106
 由谷 裕哉：櫻井治男著『地域神社の宗教学』112
 黒崎 浩行：板井正斉著『ささえあいの神道文化』117
 藤田 正勝：津田雅夫編『〈昭和思想〉新論』122
 栗津 賢太：安丸良夫・喜安朗編『戦後知の可能性』127
 深澤 英隆：櫻井義秀編著『カルトとスピリチュアリティ』134
 井上ウイマラ：葛西賢太著『現代瞑想論』141
 山口しのぶ：森雅秀著『インド密教の儀礼世界』148
 山中 弘：石森大知著『生ける神の創造力』154
 岩本 明美：ケネス・タナカ著『アメリカ仏教』160
 久松 英二：秋山学著『ハンガリーのギリシア・カトリック教会』166
 土井 健司：細田あや子著『「よきサマリア人」の譬え』173
 山崎 亮：伊達聖伸著『ライシテ、道德、宗教学』178

展 望

- 渡辺 学：第9回ドーハ諸宗教対話会議報告記184

日 本 宗 教 学 会

2011年12月